

第3学期終業式式辞

皆さん、おはようございます。先日、3年生を送り出して寂しい思いをしましたが、来月には新入生を迎えて、新制八幡浜高校がスタートします。

そこで、来年度に向け、普段の生活の中で大切にしてほしいことや、考えてほしいことをお話しします。

さて、私たちが生活している地域社会は、様々な人々や組織、団体等によって構成されています。たとえば、皆さんが属する家族や学校もその中に含まれています。

家族は「共同生活の単位となる集団」であり、近年は「夫婦とその未婚の子からなる核家族」が一般的です。また、「住居および生計を同じくする者の集まり」である世帯は、1953年に5人であったものが、2022年には2.25人にまで減少しています。このように、戦後、日本の家族や世帯の形態は徐々に変化してきました。

現在、日本を含む多くの国が、少子高齢化に直面しています。お隣の韓国では、先日、女性1人が生涯に産む子供の数を示す合計特殊出生率（暫定）が0.72を記録したと報道されました。日本でも、昨年を下回ることが予想されており、1.20前後になるのではないかとされています。

また、国土交通省の調査によると、皆さんが40代を迎える2050年には、日本の総人口は、現在の1億2,399万人から9,515万人に減少し、65歳以上の高齢者が全人口の39.6%になると推計されています。ちなみに、愛媛県の人口は現在1,286,463人ですが、2050年には944,634人に減

少し、高齢化率は全国平均を上まわる 43%になると言われています。

これらの話からも分かるように、皆さんは、今後、これまで誰も経験したことのない超高齢社会で生活することになります。それに加え、人口減少による過疎化や地域コミュニティの崩壊、労働力不足といった問題や課題が待ち受けています。まさに前途多難です。

そういった将来が不透明で、困難な時代を生き抜いていくためには、何が必要で、何を大切にすべきでしょうか。皆さんのヒントになりそうなものをいくつかあげてみますので、参考にしてください。

一つ目は、基礎的な知識・技能です。皆さんが、小学校、中学校、高校で学んだ知識・技能は、様々な場面で役立ちますし、思考力や判断力、表現力などを獲得する際の基盤となります。また、様々な教科で身に付けた見方や考え方は、今後直面するであろう問題や課題を解決する際に役立ちます。だからこそ、1 時間 1 時間の授業に集中し、基礎的な知識・技能の習得に努めましょう。

二つ目は、学習の継続です。相対性理論を発表したアルベルト・アインシュタインは、「学べば学ぶほど、自分がどれだけ無知であるか思い知らされる。自分の無知に気づけば気づくほど、より一層学びたくなる」と述べています。また、フォード・モーターの創設者であるヘンリー・フォードは「20 歳であろうが 80 歳であろうが、学ぶことを止めてしまった人は年老いる。学び続ける人はいつまでも若い」と述べています。

実は、フォードが述べた内容は、脳科学の分野で実証されています。最近の研究では、年齢に関係なく、学習をす

ると脳の体積が増え、様々な働きが高まることが分かっています。逆に、学習をやめてしまうと、脳はどんどん退化してしまいます。つまり、頭を使えば使うほど、脳の機能が高まるというわけです。

次に、脳とスマートフォンの関係についても紹介しておきます。スウェーデンの精神科医アンデシュ・ハンセンは、その著書『スマホ脳』の中で、「スマホを傍らに置くだけで学習効果、記憶力、集中力は低下し、スマホを長時間使用することで睡眠障害やうつ病などを発症する可能性が高まる」と警告しています。

また、NHKの「クローズアップ現代」という番組の中で、スマホと脳の関係が取り上げられました。その中で、「スマホに依存する 30~50 代の働き盛りでも、もの忘れが激しくなり判断力や意欲も低下する」「スマホの使用時間が長い子ども的大脑に発達の遅れが見られる」と指摘されていました。

いまや、高校生の9割以上がスマホを所持しています。しかし、その使い方を間違えると、体調をくずしたり、生活リズムが乱れたりする危険性があります。皆さんにとっては、スマホのない生活は考えられないかもしれません。だからこそ、長時間の使用を避け、上手に活用しましょう。

三つ目は、コミュニケーション能力です。実社会では、様々な人とのつきあいが生じます。そういった多様な人々と良好な人間関係を築くためには、まず、相手と会話することが必要です。もちろん、単に相手と話をすればよいというわけではありません。会話をする際には、相手に敬意をはらうとともに、礼儀を尽くすことも大切です。

また、自分の考えや思いを伝えるだけでなく、相手の話

をしっかりと聞くことも重要です。そういった気遣いは、現実の世界だけでなく、インターネット上の空間においても大切です。

相手の立場に立って考え、行動する。これはコミュニケーションに限らず、私たちの生活全般にわたって言えることです。今後、年齢や性別、民族や宗教など、多様な人々と共生していくためにも、この考え方や態度は是非身に付けましょう。

四つ目は、様々なことに挑戦することです。人間誰も苦勞はしたくありませんし、しんどいこともしたくありません。しかし、自分を少しでも成長させたいのであれば、敢えて苦勞や手間をいとわず、何事にも意欲的にチャレンジしていくことが大切です。

挑戦には、苦勞や困難が伴います。しかし、それらを乗り越えることによって、自分に自信がもてますし、いままでとは違った世界が開けてきたりします。

『学問のすすめ』を著した福沢諭吉は、「進まざる者は必ず退き、退かざる者は必ず進む」と述べています。結局、自分の人生は、自分で切り拓いていくしかありません。そのためには、様々な人と出会い、いろいろな体験をしながら自分の資質・能力を高めていく必要があります。

一度きりの人生です。やらずに後悔するよりは、やって後悔した方がよいと思います。

終わりに、今後、皆さんが自分の進路希望を実現し、充実した高校生活を送ることを祈念して、式辞とします。